

第7節 蔵の街課

〔総括概要〕

蔵の街課の主な分掌事務は、蔵の街推進業務及び伝統的建造物群保存地区業務である。

蔵の街推進業務では、栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく「栃木市歴史的風致維持向上計画」に関する事業を行った。

蔵の街を活かしたまちづくり業務では、庁内での情報共有、連携を図るため蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議及び部会を開催した。また、蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究を実施した。

街なかの活性化を図るために、歌麿を中心とした文化のまちづくりに取り組んでいる団体等で組織した「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と協働し、歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、歌麿まつりの開催や各種事業を実施した。また、NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の放送を契機として、NHK や関連自治体と連携し、本市のPRを行った。

伝統的建造物群保存地区に係る業務では、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（伝建地区）内の味噌工場跡地において、伝建地区拠点施設整備事業として、広場利活用を先行するため、全体イメージの作成及び今後の工事を想定した仮設計画を含んだ広場基本計画業務委託を実施した。また、伝建地区内にある個人所有の伝統的建造物等の修理・修景に対する補助事業や、建築物等の許認可制度により歴史的な町並みの保全を行った。

地元関係者等で組織される「NPO 法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに、歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施した。

蔵の街推進係

1 歴史まちづくり

(1) 歴史的風致維持向上計画

栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、歴史まちづくり法に基づき策定した栃木市歴史的風致維持向上計画を推進する学識経験者や各種団体等からなる「栃木市歴史的風致維持向上協議会」に対し、意見聴取を実施した。

・ 栃木市歴史的風致維持向上協議会 2月19日

(2) 旧金澤呉服店修理工事

歴史的風致の維持・向上のため、歴史的風致形成建造物の工事を実施した。

工事等名	契約額（円）	施工業者
旧金澤呉服店主屋壁補修工事	1,276,000	(株)小林商店

旧金澤呉服店主屋屋根瓦調整工事	66,000	(株)小林商店
-----------------	--------	---------

(3) 歴史的建造物の試験的活用

歴史的建造物の試験的な活用として、旧金澤呉服店の貸出を行った。

- ・貸出先 歌麿を活かしたまちづくり協議会
- ・貸出期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・活用方法 とちぎ歌麿交流館として開館
- ・来場者数 6,865人

(4) 歴史的風致維持向上支援法人との定例勉強会の開催

歴史的建造物等の保存・活用に関して、法的・制度的・行政の体制的な課題等の解決に向けた、市とNPO法人とちぎ蔵の街職人塾による定例勉強会を開催した。

- ・第12回 5月15日
- ・第13回 9月17日
- ・第14回 12月3日
- ・第15回 1月9日
- ・第16回 3月13日

2 蔵の街を活かしたまちづくり

(1) 蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議

蔵の街を活かしたまちづくりの推進に関し、蔵の街に関わる事業の実施関係課及び蔵の街エリアの歴史的建造物所管課との連携及び調整を図るために、庁内関係課会議及び部会、担当者会議を開催した。

実施日	場所	内容
1月27日	501会議室	庁内関係課会議・部会合同会議 協議事項 ・令和7年度実施事業の実績について ・令和8年度実施予定事業について ・各課所管の歴史的建造物の課題・展望について ・各課からの提案事項
3月23日	旧関根邸	担当者会議 内容 ・各担当者レベルでの課題や情報の共有 ・歴史まちづくりに携わっている建築士からの経験談

(2) 蔵の街を活かしたまちづくり事業

蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究及び実践をしていくことを目的として、「蔵の街とちぎ」の魅力を再発見・発信し、未利用の歴史的建造物の活用のきっかけを作るための事業を委託した。

- ・委託先 蔵の街を活かしたまちづくり研究会
- ・業務内容 多世代地域交流事業（8回）、蔵の街エリアイラストマップ作製準備

3 喜多川歌麿を活かしたまちづくり

(1) 歌麿を活かしたまちづくり協議会

歌麿を活かしたまちづくり活動を充実させるため、歌麿を活かしたまちづくり協議会と市の協働により、歌麿に関する各種イベントや歌麿の業績を広めるための講演会を開催した。

実施日	場所	内容
9月23日	國學院大學栃木 学園駅前教育セ ンターレクチャ ーホール	演題：稀代の浮世絵師・歌麿の画業と栃木の雪月花 講師：元千葉県美術館副館長・国際浮世絵学会常任理事 田辺昌子氏

(2) 歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木の関わりを市内外に広く周知し、街なかの賑わいを創出するため、歌麿道中や関連イベントを行う第14回歌麿まつりを開催した。

- ・実施期間 10月11日から10月19日
- ・場 所 とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺
- ・参加人数 約23,000人
- ・主 催 歌麿を活かしたまちづくり協議会
- ・共 催 栃木市、栃木市教育委員会

(3) NHK大河ドラマ「べらぼう～葛重栄華乃夢嘶～」関連事業

NHK大河ドラマ「べらぼう～葛重栄華乃夢嘶～」に本市ゆかりの浮世絵師・喜多川歌麿が登場したことから、NHKや関連自治体と連携し、PR事業を行った。

ア 江戸たいとう 葛重まつり

- ・実施日 5月31日
- ・会 場 台東区山谷堀広場・墨田公園
- ・内 容 歌麿と栃木のPRブース設置（チラシ配布、物産販売）

イ べらぼう＋栃木市 PR冊子作成

- ・配布開始日 8月28日
- ・配布場所 市内各所の市有施設
- ・内 容 歌麿と栃木に関するPR、喜多川歌麿役・染谷将太さんのインタビューを掲載

ウ 歌麿役・染谷将太さんとみる！大河ドラマ「べらぼう～葛重栄華乃夢嘶～」トーク&パブリックビューイング

- ・実施日 9月7日
- ・会 場 とちぎ岩下の新生姜ホール 大ホール
- ・主 催 栃木市・NHK宇都宮放送局
- ・内 容 喜多川歌麿役・染谷将太さんを招待し、ドラマ撮影の裏側等のトークショー及び当日放送回のパブリックビューイング
関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）を招待
- ・参加者 928名

- エ 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」特別展示 in 栃木市（1日限定）
- ・実施日 9月7日
 - ・会場 とちぎ岩下の新生姜ホール 展示室
 - ・主催 栃木市・NHK宇都宮放送局
 - ・内容 ドラマ内で使用した小道具やドラマに登場するキャラクターのパネル等の展示
 - ・参加者 1,740名
- オ 歌麿と栃木 PR
- ・実施日 9月18日
 - ・会場 べらぼう江戸たいとうドラマ館
 - ・内容 歌麿と栃木のチラシやパンフレットの配布
- カ とちぎ歌丸シェ
- ・実施日 10月12日
 - ・会場 美術館・文学館ひろば
 - ・主催 歌麿を活かしたまちづくり協議会
 - ・共催 栃木市・栃木市教育委員会
 - ・内容 歌麿と栃木のPRブースほか、マルシェ等
関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）のPRブースの設置
 - ・参加者 延べ1,000名
- キ 歌麿道中
- ・実施日 10月18日
 - ・会場 巴波川会場（塚田歴史伝説館黒板堀前）
 - ・主催 歌麿を活かしたまちづくり協議会
 - ・共催 栃木市・栃木市教育委員会
 - ・内容 歌麿道中ほか、関連自治体（台東区・白河市・牧之原市）を招待
 - ・参加者 延べ5,000名
- ク 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」紀行放送
- ・放送日 10月19日
- ケ 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」トークショー“W定信 白河に里帰り”
- ・実施日 10月19日
 - ・会場 白河文化交流館コミネス
- コ べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館ゆかりの地ウィーク 喜多川歌麿ウィーク
- ・実施日 10月25日～11月3日
 - ・会場 べらぼう江戸たいとう大河ドラマ館
 - ・内容 台東区とべらぼうゆかりの地とのタイアップイベント 期間中栃木県民は入館料が半額
- サ 牧之原市制施行20周年記念事業 まきのはら産業フェア2025
- ・実施日 11月16日
 - ・会場 牧之原市役所相良庁舎周辺

- ・内 容 歌麿と栃木の PR ブースの設置・物産販売
- シ 牧之原市制 20 周年式典
- ・実施日 1 月 12 日
- ・会 場 牧之原市相良総合センター「い〜ら」

重伝建係

1 伝統的建造物群保存事業

(1) 伝統的建造物修理事業

伝統的建造物の修理、建築物の修景への補助金により所有者を支援し、歴史的町並みの形成を図った。

- ・伝統的建造物等修理・修景補助 6件 58,748,000円

(2) 伝建地区における現状変更行為

建築物等の新築、増築、改築等の現状変更行為について、許認可制度により歴史的町並みの維持を図った。

- ・現状変更行為許可件数 24件

(3) 栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会

栃木市長及び栃木市教育委員会からの諮問に基づき、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催した。

実施日	場所	内容
8月20日	議員全員 協議会室	審議事項 ・今後の修理・修景事業について ・保存計画を保存活用計画へ変更することについて 報告事項 ・伝建地区拠点施設煙突について ・伝建地区拠点施設広場基本計画について
3月17日	501会議室	審議事項 ・保存計画を保存活用計画へ変更することについて 報告事項 ・令和7年度修理事業及び令和8年度修理予定事業 について ・土蔵(嘉03)解体調査の意見照会後の進捗について ・拠点施設整備事業について

(4) 嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練

「嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画（H30.3）」に基づき、伝建地区を構成する大町・嘉右衛門町・泉町の各自治会住民が主体となった総合防災訓練を実施した。

実施日	場所	内容
2月1日	嘉右衛門町伝建	訓練内容

	地区拠点施設	・通報訓練、放水訓練、初期消火訓練 参加者 ・大町・嘉右衛門町・泉町各自治会参加者、栃木市消防団栃木第1分団、栃木市消防団栃木第5分団、栃木市、栃木消防本部 約50人
--	--------	---

(5) 伝建地区建物バンク制度

伝建地区内における空き家や空き店舗などを有効活用するため、建物の所有者と利用希望者を相互に紹介する伝建地区建物バンク制度を運用した。

(単位：件)

登録名	累計登録数
建物登録	5
利用希望登録	8

2 伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業

(1) 整備概要

「栃木市嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画（令和4年3月改訂）」に基づき、味噌工場跡地を拠点施設として整備するため、伝建地区拠点施設において広場の利活用を先行的に進めることとした。このため、全体イメージの作成および今後の工事を想定した仮設計画を含む広場基本計画業務委託を実施した。

工事等名	契約額（円）	委託業者
伝建地区拠点施設基本計画業務委託	5,060,000	(株)景観プランニング

(2) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設「ガイドダンスセンター・交流館」

拠点施設として整備したガイドダンスセンター（観光案内施設）及び交流館（集会施設）の管理運営業務を委託した。

- ・委託先 NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会
- ・業務内容 伝建地区の紹介・説明及び周辺の観光案内、イベント開催などのまちづくり事業等
- ・利用者数 ガイドダンスセンター 9,908人
交流館 2,103人

(3) 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設内伝統的建造物利活用事業

旧日光例幣使街道沿いの見世蔵、袖蔵及び主屋等の伝統的建造物を改修し、令和4年2月から、民間事業者により「KAEMON BASE」として活用されている。飲食、シェアオフィス、交流機能等を備えており、地域活性化及び観光振興に寄与した。

3 嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくり

「嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画（H26.8）」の推進を図るため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、まちづくり活動を実施した。

NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会

- ・総会 4月24日

- ・クリーン作戦の実施 12回（月1回：原則、毎月第一日曜日）
- ・花いっぱい運動 通年開催
- ・先進地視察研修（群馬県富岡市） 1月26日
- ・歴史勉強会 3月14日
- ・まちづくり通信の発行 12月、2月

4 地域おこし協力隊活動事業

伝建地区において、地域外の人材を誘致し、その定住及び定着を図り、地域力を促進するため、地域おこし協力隊員を委嘱した。

協力隊員は、空き家・空き蔵の利活用を通じた地域振興をテーマに、各事業を実施した。

(1) 蔵を活用した民泊施設開業支援

伝建地区内の空き蔵を、地区内初の民泊施設として活用するため、民泊の法律関係の整理や開業手続き、建物のリノベーションなどの開業支援を行った。

(2) 高校生を対象とした企画

若い世代の地域への理解度を深めるため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会の会員と協力し、栃木市に在住・通学等をしている高校生を対象に、伝統的建造物での勉強会やスマホ茶会等の事業を実施した。